



大人のための 本格的な 禅体験のご案内

(大本山妙心寺 夏季講座)

青空に入道雲が湧く季節となりました。
夏野菜はどんどんおいしくなり、
洗濯物もカラリと乾いて、本当に気持ちが良いです。
今年の七夕には美しい星空が見えるでしょうか。

さて、先月はこどもの夏合宿についてご案内しましたが、
「大人でも合宿に行きたい!」という方のために
禅を体験できる大本山妙心寺での夏季講座をご案内します。
「坐禅は初めて」という方でも大丈夫です。
どなたでも参加できるので、ぜひ挑戦してみてください。



期日 : ①全日程コース・・・8月29日(金)～31日(日)
②1泊2日コース・・・8月29日(金)・30日(土)

会場 : 京都 大本山妙心寺 及び 花園大学・花園会館

宿泊先 : 花園会館

定員 : 100名

受講料 : ①全日程コース 26,000円
(宿泊費・朝食2回・昼食1回・夕食2回・テキスト代)
②1泊2日コース 17,000円
(宿泊費・朝食1回・昼食1回・夕食1回・テキスト代)

申込締切 : 7月25日(金) 但し、定員になり次第締め切り

申込先 : 妙心寺派宗務本所 花園会本部(夏季講座係)

☎ 075-463-3121

電話をすると、申込書と要領を郵送していただけます。

食事や坐禅の作法を学ぶだけでなく、
花園大学教授の仏教に関する講義や和尚様の法話を聞き、
心身ともに禅の実践を体験できます。

京都 妙心寺の法堂で、心静かに坐禅三昧。
後々まで心に残る夏の思い出になるのではないのでしょうか。



この4月、4年間妙心寺管長として務められた河野太通老師がご退任なさいました。
そして名古屋・徳源僧堂の師家であられた嶺興嶽(みね こうがく)老師が
妙心寺第34代管長に就任されました。

このお方は、岐阜のご出身です。

また岐阜は、妙心寺開山様 関山慧玄禅師が悟後の修行をされた土地でもあります。
優れた禅僧がこの岐阜の地から世に出たことに思いを馳せながら、
妙心寺での禅生活に触れていただければと思います。

大智寺だより

平成26年文月
Vol.53

発行所

大智寺

岐阜市山県北野
668-1

電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去のすべての紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

6月号発行部数
200部

ご愛読

ありがとうございます

～ お盆に向けて ～

7月13・14・15日の3日間、例年通りお盆の棚経へお伺いします。
日時は個別にご連絡させていただいた通りですが、
当日の状況によってお伺いする時間が前後するかもしれません。
どうぞご理解いただけますよう、よろしくお願い致します。



尚、大智寺周辺の方々の棚経は、例年通り8月にお伺いいたします。
よろしくお願い致します。



毎年お盆前に、お寺のお掃除をお檀家様方にお世話になっております。
今年は、8月3日（日）の朝7：00から、里三号の皆様がお掃除に
来てくださいます。お檀家の皆様が気持ちよくお参りできるよう、当日
はお墓前の草刈りや、境内の掃除をしていただきます。
暑い盛りで恐縮ですが、どうぞよろしくお願い致します。

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc
わからないこと 質問帳 ③



「お葬式で和尚様が持っている、先の赤い棒は何？」

臨済宗のお葬儀では、導師（菩提寺住職）が故人のために引導を唱えます。
引導を唱え終わると大声で「喝」を唱え、松明（たいまつ）をかたどった棒を投げます。
先端が赤い棒とは、松明を意味しています。

昔、中国唐の時代、黄檗（おうばく）禅師という禅僧がおられました。

この方は、臨済宗の宗祖 臨済禅師のお師匠様です。

この黄檗禅師は、母親の反対を押し切って出家し、修行の旅に出られました。

母親は悲しみのあまり、盲目になってしまいます。

母親はそれでも我が子に会いたい一心で、街の人々に

「もし旅の修行者がきたら、家に泊めるから必ず連れてきてほしい」と頼み込みました。

そして修行僧を泊める時には、必ず修行僧の足を洗うようにしました。

これは、我が子黄檗禅師の片足には大きなこぶがあり、洗えばすぐ我が子と分かるからでした。

20年が過ぎ、まだ修行中だった黄檗禅師が故郷の地を通りかかります。

人に勧められ我が家に泊まることとなった黄檗禅師ですが、

盲目の母親を前に、修行が未熟なのを恥じ、名乗ることができません。

こぶのある足もわざと出さず、同じ足を2度出して洗ってもらい、一泊して旅立っていきます。

次の日、近所の人から「あれはあなたの息子ではないか」と告げられた母親は、

慌てて盲目の目で我が子を追い、あっけなく川で溺れて死んでしまいます。

隣町でこの知らせを聞いた黄檗禅師は、驚いて取って返し、

夜中、松明を掲げて川の中を必死で探しましたが、ついに見つかりません。

禅師が、悲嘆のあまり あたり一帯に響く大きな声で、

「一子出家すれば九族天に生ず云々・・・」と唱え、川に松明を投げ打つと、

安らかに母親は昇天していかれました。

お葬儀の導師のことを、正式には「秉炬（ひんこ）導師」＝松明を手握る人 と言います。

臨済宗のお葬儀は、この黄檗禅師の故事を模したものとなり、今に伝わっているのです。

～ 日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31 ページより

③

「 普く(あまねく)衆生を觀するに 各々(おのおの)仏性具しぬれば 」

「すべて生きとし生けるものについて、仏様の目を通して見てみると、それぞれ仏性をそなえ持っていることがわかる、だから・・・」

生まれたての赤ん坊時代が、誰にでもありました。

今は貫禄あるおじいさんも、昔はかわいい赤ん坊として裸でこの世に生まれました。生まれた時は、親の顔色をうかがって良いことをして褒められようなど考えません。

損得勘定もなければ、好き嫌いもありません。

ただ、生きるために必要な欲求を、素直にあらわすのみです。

眠い、お腹が減った、おむつが濡れて気持ち悪い、かけひきなしにサインを出してくれるから、母親は困らないのです。



その赤ん坊時代の素直な心こそ、仏性です。

良い悪い、損得、好き嫌い、きれい汚い、美しい醜い・・・そんなことは自分の心が作り出したこと。お釈迦様の前では、大金持ちも偉い人も、みな平等に「仏心を持つ衆生」というだけなのです。

今月のひまわり

軒下から聞こえてくる風鈴が、いかにも涼しげで「ああ、今年も夏がきたな」と感じさせられます。通りがかりに横目で見る家々が、いつも通り大きなすだれを出したり、朝顔の植木鉢を並べたり、ゴーヤのための網を張ったりしていると、なんだかホッとします。一段と日差しも強くなる中皆様、暑中のお見舞いを申し上げます。

さて、先月末に池の花菖蒲を初めて株分けしてみました。花菖蒲は6月中旬ごろに咲くアヤメ科の花で、何干と種類があるそうです。お寺の池にも少しだけ花菖蒲の株がありますが、4～5年程同じ土地に植えていると、嫌地を起こして株全体が弱ってしまうと聞き、今回初めて株分けしてみました。掘り起こした花菖蒲の根を洗って、一株ごとに切り分け、根が弱らないよう葉を短く切るだけの単純な作業ですが、なかなかの力仕事です。花菖蒲の葉には裏表があり、裏の方向へ株が膨らんでいくということも、初めて知りました。結局、株がとても大きくて、全部の株を掘り起こす事はできませんでしたが、少しだけ花菖蒲が増えました。来年花が咲くか不安もありますが、楽しみです。

これから夏本番を迎えます。花菖蒲は、また切られた葉を伸ばし栄養を溜めこみます。植物も人間も、夏越しが肝心。皆様この夏もどうかお身体を大切に愛ください。



～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

里5号のおばあちゃん 夏の定番シシトウの甘辛煮

- ① 油をひいたフライパンにシシトウを 両手にいっぱい分ぐらい入れる。
(ピーマンを使うなら、だいたい5個ぐらいの量かな)
- ② しょうゆ、酒、みりんを大さじ1ずつ入れて炒める。
- ③ よく炒めたら、好みでかつお節をかけて できあがり。



熱いうちにごはんと一緒に食べてもおいしいし、冷まして味をしみこませてから食べてもええよ。夏は暑いで、涼しい朝のうちにたくさん作って冷蔵庫に入れとくんやよ、楽やでね。



～ うちの宗教って、どんなやつけ？ ～

第十八回：経典（きょうてん）

大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話



初めて大智寺にお出かけ下さり、本堂に上がられると「ご本尊様に、何てお唱えしたらいいですか？ ナムアマダブツですか？」と聞かれる方がおられます。

お経とは、お釈迦様の教えをお弟子が書き記したものです。ただ、お釈迦様の教えを角度を変えて多数のお弟子が書いたため、お経は個々内容が異なります。そのため宗派によっては、特定の経典を教団の拠り所とすることがあります。たとえば浄土宗は、浄土三部経（阿弥陀経 無量寿経 観無量寿経）を日蓮宗や天台宗は、法華経を主にお唱えします。

けれど臨済宗では、経典を特定することはありません。よくお唱えするのは「般若心経」「観音経」「消災呪」「大悲呪」などですが、「これを唱えなければダメ」ということではありません。

臨済宗では、「お経とは、悟りの境地を説明してある、いわば薬の効能書」として捉えています。薬を飲むことなく効能書をいくら読んでも、効果は出ません。

「ひとり一人が悟りを直接体験する」ということが臨済宗の目的です。この目的のための薬は、何より日々坐禅を組むこと。臨済宗では、この「坐禅」に重点を置いているため、特定の経典を拠り所とすることがないのです。



♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

7月27日（日） 一回 500円
（朝8時～9時） （内 300円は義援金）
要申込

6月写経会 備忘録

雨が散らつく日曜日、色づいたアジサイを横目に11名の方がお写経くださいました。今回は、「粗忽長屋（そこつながや）」という落語を皆様と楽しみながら、般若心経の第一節「観自在菩薩」の部分をお話させていただきました。このたびはメンバーの方から高級なお濃茶をいただき、ありがとうございました。いつもは薄茶ですが、今回は気分を変えてお濃茶をいただいってみましょうか（笑）

永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りの方がいなくても、永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代に亘り、他の方のお骨と混じらないことから、「完全個別永代供養墓」といいます。

ご希望の方は、いつでもご相談ください。



完全個別永代供養墓
1区画：38万円～
（墓石代金含む）

ご家庭のご事情により、また、その方のご希望により費用は変わります。

詳しくは、ご見学を含めてご説明いたしますので、ご予約の上、ご来山ください。